

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和3年9月16日(木) 11:00～11:40

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 大島課長、片桐専門職、関口係長、  
加藤係長  
原子力エネルギー協議会(以下「ATENA」という。) 示野事務局長、他2名(テレビ会議システムによる出席)

東京電力ホールディングス株式会社

原子力安全・統括部 原子力調査グループ 課長、他1名(テレビ会議システムによる出席)

中部電力株式会社

原子力本部 企画G 部長(テレビ会議システムによる出席)

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力企画部門 原子力企画グループ マネジャー、他1名(テレビ会議システムによる出席)

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力企画グループ グループ長、他1名(テレビ会議システムによる出席)

5. 要旨：

ATENA と原子力規制庁は、次回の主要原子力施設設置者(被規制者)の原子力部門の責任者との意見交換会(以下「CNO 意見交換会」という。)の議題について、原子力施設設置者の担当者(以下「事業者」という。)を交えて、以下のとおり意見交換を行った。

次回 CNO 意見交換の議題について、事業者から、オンサイトの SA 対応能力の向上の取組、及び特定重大事故等対処施設に関する情報の公開、ATENA から、安全な長期運転のための経年劣化管理の取組、及び前回の CNO 意見交換で話題となった MOX 燃料の長期保管による影響について考えていると、配付資料に基づき説明があった。規制庁から、本日説明のあった議題について、SA 対応能力の向上の取組については資料の準備を進めてもらうとともに、引き続き、当日の時間配分を含めて、どの議題を議論するか調整を続けたい旨発言した。

事業者から、次回の意見交換会への四国電力及び中国電力の参加について、四国電力は現時点では調整中、中国電力は都合がつかない旨説明があった。

6. 配付資料：

資料1 10/15CNO 意見交換会の議題案(現在議論中のドラフト)について

以上